



# 広島オリンピックシンボル計画

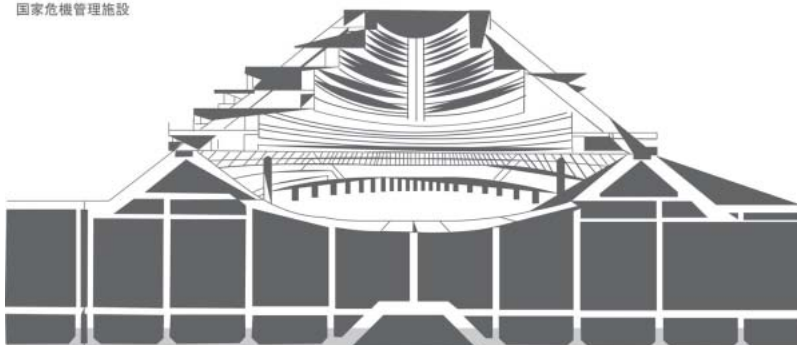
国家危機管理機能を備えた湾岸構想

大古 剛 (おおこ つよし)

日本大学 理工学部 社会交通工学科



国家危機管理施設



### Internal Composition

オリーブ島にありてもお入れする開港  
施設は、ソーラーパネルを屋根材として採用  
し、太陽からエネルギーを生成する。



また、太陽光を有効にし、ソーラーパネルが  
生成した太陽熱を、ソーラーウォーム管に  
集積し、エネルギーを蓄積する。



周辺においては、アウトワークエリア  
は自然環境と調和する形で、インター  
フェイスは多岐にわたる。また、環境  
に優しい水の上水道を取り入れる。



平野部は、オリンピックシンボルとして  
オリンピック競技（サッカー、テニス、バ  
ドミントン）選手村としても機能し、景  
観的な価値を創出する。



丘を有効にし、人々の集まるような空間を  
創出する。山の斜面を有効にし、下から上  
げる発想もあり、上から下へも楽しめる空間  
を創出する。



ここでは開港直後に創出される「フロント  
-ライン」- 商業街なども有る。また、  
自然環境と調和する形で、インター  
フェイスは多岐にわたる。また、環境  
に優しい水の上水道を取り入れる。



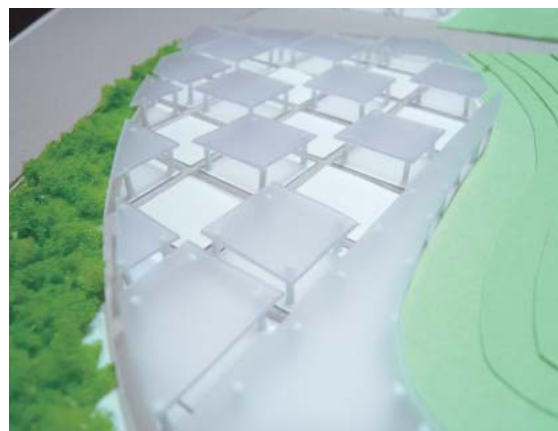
「緑の空間」では公園、散歩道など自然  
環境を創出し、自然環境と調和する  
ものである。



「人間関係の空間」は実際に歩いて歩く  
空間を創出する。また、コミュニティ  
空間を創出する。また、コミュニティ  
空間を創出する。



交通においては、アウトワークエリア  
は自然環境と調和する形で、インター  
フェイスは多岐にわたる。また、環境  
に優しい水の上水道を取り入れる。



**講評** 本作品は多種多様な顔を持っている。現在社会問題となっている世界平和であり、エコや無駄の削減であり、そして地震等の自然災害対策である。海に浮かべられたこの島は地震を和らげ、津波に影響されないため国家の重要拠点となり、オリンピック施設は島ごと移動させて他の地区で箱物を建設することなくレンタル運動施設として利用できる。あまりに多面性を持たせた為に計画の中心がぼやけてしまったが、作者の熱い気持ちが凝縮された作品で、近い将来このような計画は充分実現されるのではないだろうか。

(審査員：竹下 章治)